

令和5年度全国学力・学習状況調査について

1 調査結果について

- ・国語
- ・算数

◎ 国語・算数の正答率は、全国・千葉県平均に届いていない。

2 成果と課題

(1) 国語

説明文の内容を理解して、適切な説明を選択する問題は、正答率が高い。しかし、同じ問題でも、条件を読み取って「学校の米作りの問題点とその解決方法について記述する問題は、正答率が低い。

(2) 算数

5脚の椅子を重ねたときの高さを求める問題は、全員が正答することができた。また、椅子の数が2倍になっても、高さは2倍になっていないことについて、表の数を使って書く問題も、正答率がとても高い。しかし、切って開いた三角形を正三角形にするために、テープを切る時のAの角の大きさを書く問題や、テープを直線で切ってできた二つの三角形の面積の大小について分かることを選び、選んだわけを書く問題は、正答率が低い。

3 調査結果から

国語においては、選択式問題では6割から9割の正答率なのに対し、短答式では約5割、記述式では2割から5割の正答率である。また算数においては、選択式の問題では正答率が3割から6割の正答率なのに対し、短答式では、三角形の問題以外は6割から全員正解までおり、記述式でも三角形の問題以外は3割から5割の正答率である。

4 今後の取り組み

- (1) 引き続き、国語科で校内授業研究を行い、全学年の国語科の授業で並行読書を奨励することで、児童の読解力の向上を図る。
- (2) 今後も、国語の要約や抜き書き、算数の単元で学習した知識を応用して解く問題など、児童が苦手とする設問を解答できる力が身に付くよう、低学年より系統立てて指導を重ねていく。